

令和2年9月25日

日本学術会議
地球惑星科学委員会 IUGS 分科会
地質年代学小委員会
委員各位

地質年代学小委員会（第24期・第3回）議事要旨

下記の内容で委員会を開催した。委員12名の内、10名の出席により本委員会は成立した。

日時： 令和2年9月25日（金）11:00～11:30

場所： 遠隔会議（主催会場：京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻田上研究室）

出席 佐野，奥村，兵頭，兵藤，寺田，長谷川，加藤，小宮，岩田，田上

欠席 豊田，中村

議事

1. 委員の確認（配付資料1）

委員長より本委員会の名簿が事前に配布され、確認を行った。情報が更新された。

2. 小委員会の活動内容の確認

2-1 今年の連合大会における年代・同位体関連セッションの報告

コロナ禍のため7月にオンライン開催となった連合大会における本委員会主催のセッション（「S-GL34 地球年代学・同位体地球科学」，コンビーナー：田上，佐野）について報告があった。iPosterでの発表となったが，例年と同程度の発表件数があった。また，関連セッション（「S-CG59 地殻表層の変動・発達と地球年代学／熱年代学の応用」，コンビーナー：長谷部，末岡，Herman，田上）などについての報告もあった。

2-2 来年の連合大会における年代・同位体関連セッションの提案

来年の連合大会において，本委員会主催のセッションを開催する提案が委員長よりあった。協議の結果，「地球年代学・同位体地球科学」については田上・佐野が引き続きコンビーナーとしてセッション提案することとなった。また，固体地球科学セクションフォーカスグループ「表層変動熱年代学」等との関連でもセッション提案を検討することとなった。

3. その他

3-1 前回議事要旨の承認（配付資料2）

承認が得られた。また，今回の議事要旨の承認について，委員間でメール回覧の後，委員長一任することとなった。

3-2 第25期の小委員会設置について

委員長から現状説明があった。設置が認められると，小委員会委員長および委員会の構成員の候補者の選出が必要となるため協議を行った。基本的には現在の委員会体制を存続させ

ること、申し出のあった兵頭政幸委員については星博幸氏（愛知教育大学教授）に交代すること、の2点を委員長が提案し了承された。

配付資料

1：地質年代学小委員会名簿

2：地質年代学小委員会（第24期・第3回）議事要旨（案）

地質年代学小委員会

委員長 田上高広